

Q 友達のヒスカンのウ
コル(香肥)は大き
く立派で、ウグワンプ
チのとき、見事なナナハ
シができます。わが家はヒ
スカー(質素な香肥)だか
らと義母が言われ、直径
10センチもないウコル
は、ヒラウコ15本7組を
天に昇る機嫌にして焼香し
ようとすると入りきらない
どころか、火の粉が台所に
充滿、やがて火事に至ると
思います。とても悔しい
ので、友達には「私もナナ
ハシできるよ」と嘘をつい
て見えよくしていますが、
小さいヒスカンのウコル
の皆さんはナナハシできな
いとき、ウコルを大きく
しているのでしょうか？
ナイチ線香に切り替えてい
るのでしょうか？(中城村・
Hさん 40代)

A 皆さんができること
が、できないときのお
気持ち、ナイチャム・ウ
クの私にも思い当たると
ころがあります。まず、見え
も限りたくなりますよね。
あらためて考えてみる
と、沖縄のヒスカンのウ
コルは特大・大・中・小、極
小と何種類もあるので、ナ
ナハシできるサイズもあれ
ば、できないサイズもある
はずです。琉球・沖縄のし
きたりには、できる人用のし
きたりもあれば「できない
人用のしきたり」もあり、両
極端が存在する地域性・家
庭性・個人性の宝庫ですの
で、Hさん、ご安心くださ
い。きつとお悩みの解決方
法があるはずです。これは
先人のジンプン(知恵)を尋
ねてみましょう。

ナナハシとは・基礎編

Hさんは、琉球・沖縄のし
きたりをとても勉強されて
いる印象を受けます。とい
う表現は、かなりの専門用
語だからです。

ナナハシとは・応用編

階段で焼香するしきたりが
あります。いずれも階段の
数が7段あるので、この焼
香方法をナナハシ(七つの
橋渡し)といいますが、シチ
ウミ(七つの海)・ナナタビ
(七本の道)・ナナタビ(七カ
所の国を越える旅など、ユタ
の先生曰く「言ったもん
勝ち」)の傾向が質問えん
この点でも琉球・沖縄のし
きたりの寛容さであり、素
晴らしさを学ぶことができます。

さて、焼香ですが、15本・
7組で実践するとき、ウコ
ルに入り切れれば問題あ
りませんが、入りきれない
とき、Hさんがおっしゃる
ように、ウコルを大きくす
ることも、ヤマトウコ
リ(一本線香を使用するこ
とも一案ですが)でも、H
さんのお言葉をお借りする
なら、これってちょっと悔
しいじゃないですか？

このナナハシは同時に焼
香することが好ましいと思
われがちですが、地域・家
によつては、ヒスカンウト
ウーシ(火之神お通し)とい
う、15本7組を同時に焼香
するしきたりもあれば、15
本・1組目が燃え終わる直
前に次の2組目を燃やして
2組目が燃え終わる直前

に、また次の3組目を燃や
す、コイブン(香分)という、
ヒラウコーの燃え具合を見
つつ、ヒスカンが一段一段、
確実に階段を上った下つ
た裏を確認する焼香方法
が、琉球・沖縄のしきたりに
は言い伝えられています。
今回のご回答です、ウ
コルが直径10センチ未満
でも全然大丈夫です。最初
に15本・1組目を焼香し、順
次7組目まで焼香する、こ
れでもナナハシに変わりあ
りませんので、ぜひ、実践し
ていただき、来年のウグワ
ンプトウチをありがたしくお
敬いしていただければと思
います。

Hさん、沖縄のヒスカン
には、ヒンス・スミンのヒン
スコーリはいないそう
で、みなさん、週刊カフウと
一緒に「カフウ・シンクワ
ー(果報者・幸福者)の
カフウウコル」とのこと。
その幸せを分けていただく
のが、なたい年中行事がウグ
ワンプトウチ・ヒスカンウ
ンケーですの、お義母さま
とご一緒に、小さなヒスカ
ンから大きな幸せを授かっ
てください。



イラスト/塚本剛雄